

平成 25 年度 研究計画書

2013-2014 Research Plan

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化講座 教授
氏名 Name	小矢野 哲夫
専門分野 Academic Field	日本語学

平成 25 年度 研究計画 2013-2014 Research Plan

主たる研究テーマ Principal Research Subject	言語行動におけるモダリティ副詞の運用の研究				
研究計画 Research Plan	<p>モダリティ副詞「まさか」を対象にして、どのような状況で運用されているのかを調査・分析・考察する。前年度に採集した書き言葉資料（『新潮文庫の 100 冊』の中の和文作品 50 数冊）の用例（400 例超）と談話コーパス資料等（『女性のことば・職場編』『男性のことば・職場編』『戦時中の話しことば ラジオドラマ台本から』『国会会議録検索システム』）の用例（100 例超）と、テレビドラマ等（『やまとなでしこ』『ラスト・フレンズ』『相棒』『つばさ』『屋根のあるアパート』『花のズボラ飯』『梅ちゃん先生』『科捜研の女』『潜入探偵トカゲ』など 60 タイトル超）の映像から採集した用例を対象とする。テレビドラマ等の映像資料については、発話時の表情等を捉え、音声情報（音調や口調、声の大小等）も記述する。書き言葉資料については、発話状況を分析の参考にする。このような資料を対象にしてモダリティ副詞「まさか」の使用実態の一端を把握することによって、使用上の条件や言語行動における運用上の付随的な要素も観察されることが期待される。</p> <p>このほかに、「みたいな。」止め表現の表現機能、外から見た大阪のことばについても考察する。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research					
キーワード Keywords	モダリティ	副詞	言語行動	運用上の機能	発話時の表情